2026年1月末

倶楽部 Orchid GW

［クラブオーキッド GW］

変額個人年金保険（災害死亡 50％型）

特別勘定運用レポート

（組入投資信託の運用状況）

特別勘定の名称	投資信託の名称	投資信託の運用会社	ページ
日本株インデックス225ファンド	インデックスファンド225	アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社	1
新興国債券インデックスファンド	新興国債券インデックスファンド		2
GWバランス2	グローバル・ラップ・バランス安定成長型	アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社 ※運用助言： ＳＭＢＣグローバル・インベストメント＆コンサルティング株式会社	3
GWバランス3	グローバル・ラップ・バランス成長型		4
GWバランス4	グローバル・ラップ・バランス積極成長型		5
GWバランス5	グローバル・ラップ・バランス積極型		6
GWバランス6	グローバル・ラップ・バランス超積極型		7
ＳＭＢＣグローバル・インベストメント＆コンサルティング株式会社のコメント			8
マネー	SMAM・FGマネーファンドVA	三井住友DSアセットマネジメント株式会社	9
海外リートインデックスファンド	海外先進国REITインデックスファンド	アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社	10

募集代理店

SMBC日興証券

引受保険会社

三井住友海上プライマリー生命

MS&AD INSURANCE GROUP

MSPL-2509-B-0331-00

特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって

当資料をご覧いただく際にご留意いただきたい事項

・当資料は既に当商品にご加入されたご契約者に対し、三井住友海上プライマリー生命の倶楽部 Orchid GW〔変額個人年金保険（災害死亡 50%型）〕の特別勘定および特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の運用状況を開示するためのものです。なお、商品の詳細につきましては、「契約締結前交付書面（契約概要／注意喚起情報）」、「ご契約のしおり・約款」、および「特別勘定のしおり」等をご覧ください。

・当資料に記載されている運用実績等に関する情報は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、［組入投資信託の運用状況］に記載されているコメント等は当資料作成時点の見解に基づくものであり、予告なく変更されることがあります。

・［組入投資信託の運用状況］は、運用会社が作成する運用報告を三井住友海上プライマリー生命が参考情報としてそのまま提供するものであり、内容に関しては、三井住友海上プライマリー生命の責めによるものを除き、三井住友海上プライマリー生命は一切の責任を負いません。

この保険商品についてご確認いただきたい事項

■市場リスクについて

この保険は、払込みいただいた保険料を投資信託等を投資対象としている特別勘定で運用し、その運用実績に基づいて将来の死亡保険金額、解約払戻金額、および年金額等が変動（増減）するしくみの生命保険商品です。特別勘定の資産は、主に国内外の株式・債券等に投資する投資信託を通じて運用されるため、株価や債券価格の下落、為替の変動等により、解約払戻金等のお受取りになる合計額が払込まれた保険料を下回る可能性があり、損失が生じるおそれがあります。これらの特別勘定の運用に伴うリスクはすべてご契約者に帰属します。

■ご負担いただく費用について

この保険では、保険関係費および資産運用関係費等をご負担いただきます。また、一定期間内にご契約を解約・一部解約する場合には、所定の解約控除がかかります。詳しくは次ページ「諸費用について」をご参照ください。

■その他

・変額個人年金保険は特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、ご契約者が投資信託を直接保有するものではありません。

・特別勘定のユニットプライスの値動きは、特別勘定が投資対象とする投資信託の値動きと必ずしも一致しません。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有することがあることや、ユニットプライスの計算に当たり保険関係費等の費用を控除すること等によるものです。

諸費用について

この保険の費用の合計は、以下の費用の合計額となります。

積立期間中にご負担いただく費用

1. すべてのご契約者にご負担いただく費用

下記の費用を控除した上で、ユニットプライスは計算されます。

項　目	目　的	費　用	時　期
保険関係費	当保険契約の締結および維持などに必要な費用ならびに死亡保険金・災害死亡保険金等を支払うための費用	積立金額に対して年率 2.35%	積立金額に対して左記の年率の 1/365 を乗じた金額を毎日控除します。
資産運用関係費	投資信託の信託報酬など、特別勘定の運用にかかわる費用	特別勘定ごとに異なります。詳しくは下記をご覧ください。	各特別勘定の資産残高に対して所定の年率の 1/365 を乗じた金額を毎日控除します。

特別勘定の名称	資産運用関係費（年率）
GW バランス 2	1.232%程度（消費税込）
GW バランス 3	1.364%程度（消費税込）
GW バランス 4	1.518%程度（消費税込）
GW バランス 5	1.694%程度（消費税込）
GW バランス 6	1.793%程度（消費税込）

特別勘定の名称	資産運用関係費（年率）
日本株インデックス225ファンド	0.572%程度（消費税込）
新興国債券インデックスファンド	0.66%程度（消費税込）
海外リートインデックスファンド	0.66%程度（消費税込）
マ　ネ　ー	0.00%～0.198%程度（消費税込）*

＊ 前月の最終５営業日における無担保コール翌日物レートの平均値に応じた率を用いて各月ごとに決定するため、上限と下限のみを記載しております。

ご注意

・資産運用関係費は信託報酬を記載しています。この他、信託財産留保額、有価証券の売買手数料、運用関連の税金、監査費用等がかかる場合がありますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、特別勘定のユニットプライスに反映されることとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。

・資産運用関係費は、運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

2. 下記のお取扱いの場合に別途ご負担いただく費用

特別勘定のユニットプライスを計算した後に特定の契約者にご負担いただきます。

項　目	費　用		時　期
積立金移転手数料	1 保険年度に 15 回目までは無料	1 保険年度 16 回目以後の移転について 2,500 円／回	移転時に積立金から控除します。
貸付利息	契約者貸付を受けるとき	貸付金額に対して年率 2.35%	年ごとの契約応当日に積立金から控除します。
解約控除	解約するとき	経過年数に応じて、払込保険料総額に対して 1～8%	解約時・一部解約時に積立金から控除します。
	一部解約するとき	経過年数に応じて、一部解約請求金額に対して 1～8%	

※ 一部解約請求金額が払込保険料総額を上回る場合には、解約控除対象額は払込保険料総額を上限とします。一部解約の際に解約控除対象額として取扱われた金額については、以後の解約控除対象額の計算の対象とする払込保険料総額から控除して取扱います。

※ 契約日（増額日）から 10 年未満で一般勘定で運用する定額年金へ変更した場合には、契約日（増額日）からの経過年数に応じた解約控除がかかります。

＜解約控除率＞

契約日(増額日)からの経過年数	1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上4年未満	4年以上5年未満	5年以上6年未満	6年以上7年未満	7年以上8年未満	8年以上9年未満	9年以上10年未満	10年以上
解約控除対象額に対する解約控除率	**8%**	**8%**	**7%**	**7%**	**6%**	**5%**	**4%**	**3%**	**2%**	**1%**	**0%**

年金支払期間中にご負担いただく費用

下記の年金管理費を年金支払開始日以後ご負担いただきます。（遺族年金支払特約による年金も含みます。）

項　目	費　用	時　期
年金管理費	年金額に対して 1%	年金支払開始日以後、年金支払日に責任準備金から控除します。

※ 上記費用は上限です。なお、年金支払開始日時点の費用を年金支払期間を通じて適用します。

特別勘定の名称：日本株インデックス225ファンド

インデックスファンド225

倶楽部 Orchid GW

データは2026年1月30日現在

マンスリーレポート

インデックスファンド225

追加型投信／国内／株式／インデックス型

ファンドの概要

設　定　日	1988年6月17日
償　還　日	無期限
決　算　日	原則6月16日
収 益 分 配	決算日毎

ファンドの特色

1．日本株式市場全体の動きをとらえ、日経平均トータルリターン・インデックスの動きに連動する投資成果をめざします。
2．「バーラ日本株式モデル」に従って、わが国の金融商品取引所に上場されている株式※の中から、原則として200銘柄以上に投資します。
※東京証券取引所プライム市場に上場されている株式となります。

運　用　実　績

※このレポートでは基準価額および分配金を１万口当たりで表示しています。
※このレポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

＜基準価額の推移＞

基準価額	：	15,014円
純資産総額	：	3,606.00億円

＜基準価額の騰落率＞

	１ヵ月	３ヵ月	６ヵ月	１年	３年
当ファンド	5.89%	1.73%	30.59%	36.60%	103.19%
ベンチマーク	5.93%	1.87%	30.96%	37.38%	106.75%

※基準価額の騰落率は当ファンドに過去３年間、分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意下さい。
※ベンチマークは、日経平均トータルリターン・インデックス

＜分配金実績（税引前）＞

第33期	第34期	第35期	第36期	第37期
2021/6/16	2022/6/16	2023/6/16	2024/6/17	2025/6/16
90円	90円	120円	130円	0円

※基準価額は信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。
※基準価額は当ファンドに過去３年間、分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意下さい。
※基準価額およびベンチマーク（日経平均トータルリターン・インデックス）は、2023年1月末を100として指数化しています。
※日経平均トータルリターン・インデックスに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。

＜資産構成比率＞

株式	100.0%
うち先物	1.1%
現金その他	1.1%

＜株式組入上位５業種＞

	業種	比率
1	電気機器	34.1%
2	情報・通信業	11.5%
3	小売業	11.2%
4	医薬品	4.9%
5	化学	4.7%

※「資産構成比率」「株式組入上位10銘柄」の比率は純資産総額を、「株式組入上位5業種」の比率は組入株式の評価額の合計を、それぞれ100%として計算したものです。
※「株式組入上位5業種」「株式組入上位10銘柄」はマザーファンドの状況です。業種は東証33業種分類によるものです。
※「資産構成比率」はマザーファンドの投資状況を反映した実質の組入比率です。

＜株式組入上位10銘柄＞（銘柄数：　225銘柄）

	銘　柄	業種	比率
1	アドバンテスト	電気機器	12.76%
2	ファーストリテイリング	小売業	8.83%
3	東京エレクトロン	電気機器	7.75%
4	ソフトバンクグループ	情報・通信業	6.38%
5	ファナック	電気機器	1.96%
6	ＫＤＤＩ	情報・通信業	1.96%
7	ＴＤＫ	電気機器	1.86%
8	中外製薬	医薬品	1.65%
9	信越化学工業	化学	1.60%
10	リクルートホールディングス	サービス業	1.52%

※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。
※上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

日経平均株価の概況

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

◎市場環境

１月の国内株式市場は、東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）が前月末比プラス4.62%、日経平均株価が同プラス5.93%となりました。前半は、堅調な経済指標などを背景に米国の株式市場が上昇したことや、衆議院の解散観測を受け、総選挙で与党が勝利すれば拡張的な財政政策を推進しやすくなるとの思惑などから、国内株式市場は上昇しました。後半は、デンマーク自治領グリーンランドの取得を目指す米国と、デンマークをはじめとする欧州各国との対立が懸念されたことや、日本と米国の当局による、為替介入の準備段階とされるレートチェックの実施観測が伝わり円高／アメリカドル安が進行したことなどが株価の重しとなり、国内株式市場は下落しました。

東証33業種分類では、非鉄金属、石油・石炭製品、機械などの27業種が上昇する一方、サービス業、情報・通信業、その他製品などの６業種が下落しました。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

■当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

アモーヴァ・アセットマネジメント

募集代理店
SMBC日興証券

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

引受保険会社
三井住友海上プライマリー生命
MS&AD INSURANCE GROUP

データは2026年1月30日現在

マンスリーレポート

新興国債券インデックスファンド（適格機関投資家向け）

ファンドの概要

設　定　日　2006年5月17日
償　還　日　無期限
決　算　日　原則5月16日、11月16日
収 益 分 配　決算日毎

ファンドの特色

ＪＰモルガン・エマージング・マーケッツ・ボンド・インデックス・プラス（ヘッジなし・円ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行ないます。

運　用　実　績

※このレポートでは基準価額および分配金を１万口当たりで表示しています。
※当レポートのグラフ、数値などは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。
※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

＜基準価額の推移＞

※基準価額は当ファンドに、分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意下さい。
※ベンチマークはＪＰモルガン・エマージング・マーケッツ・ボンド・インデックス・プラス（ヘッジなし・円ベース）です。
※基準価額およびベンチマークは設定日の前営業日を10,000として指数化しています。

基準価額　：　29,807円
純資産総額　：　2.73億円

＜基準価額の騰落率＞

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
当ファンド	-2.00%	-0.41%	5.95%	7.34%	41.10%	204.33%
ベンチマーク	-1.20%	1.39%	8.73%	10.56%	52.84%	249.37%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

＜分配金実績（税引前）＞

23･11･16	24･5･16	24･11･18	25･5･16	25･11･17
10円	10円	0円	0円	0円

＜資産構成比率＞

債券	96.5%
うち先物	0.0%
現金その他	3.5%

＜債券国別上位５ヵ国＞

	国　名	比　率
1	サウジアラビア	10.3%
2	トルコ	10.0%
3	メキシコ	7.3%
4	コロンビア	7.3%
5	ポーランド	7.3%

※比率はマザーファンドの純資産総額比です。

＜債券組入上位10銘柄＞　（銘柄数　105 銘柄）

	銘　柄	種　別	利　率	通　貨	比　率
1	REPUBLIC OF TURKEY	国債	8.6%	アメリカドル	2.3%
2	FED REPUBLIC OF BRAZIL	国債	5.5%	アメリカドル	1.8%
3	EAGLE FUNDING LUXCO SARL	特殊債	5.5%	アメリカドル	1.8%
4	REPUBLIC OF TURKEY	国債	9.875%	アメリカドル	1.7%
5	SAUDI INTERNATIONAL BOND	国債	5.5%	アメリカドル	1.7%
6	ABU DHABI GOVT INT'L	国債	5.5%	アメリカドル	1.6%
7	UNITED MEXICAN STATES	国債	6%	アメリカドル	1.6%
8	REPUBLIC OF TURKIYE	国債	7.125%	アメリカドル	1.5%
9	SAUDI INTERNATIONAL BOND	国債	4.75%	アメリカドル	1.4%
10	SAUDI INTERNATIONAL BOND	国債	5%	アメリカドル	1.4%

※比率はマザーファンドの純資産総額比です。
※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。
※上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

市　況　概　況

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

◎市場環境

１月の新興国債券指数は上昇しました。イランの反政府デモの拡大などから地政学的リスクが高まったことや、デンマーク自治領グリーンランドの取得を目指す米国と、デンマークをはじめとする欧州各国との対立が一時先鋭化したこと、米国長期金利が上昇したことなどを受けて、投資家のリスク回避姿勢が強まったものの、原油、貴金属、一部の産業用金属などの価格上昇が資源産出国の債券市場の支援材料となり、新興国債券指数は上昇しました。

■当ファンド（マザーファンドを含みます。）は、主に債券など値動きのある証券（外貨建証券は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に投資する新興国の債券の価格変動は、先進国の債券の値動きに比べて大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、元金を割り込むことがあります。

アモーヴァ・アセットマネジメント

募集代理店
SMBC日興証券

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

引受保険会社
三井住友海上プライマリー生命
MS&AD INSURANCE GROUP

特別勘定の名称：ＧＷバランス２

グローバル・ラップ・バランス安定成長型

倶楽部 Orchid GW

グローバル・ラップ・バランス 安定成長型

基準日　2026年1月30日

◆基準価額の推移グラフ

※基準価額は、設定日の前日を10,000として指数化しています。

◆基準価額と純資産総額

基準価額	28,275円
純資産総額	15.74億円

◆月間の収益分解

GWバランス　安定成長型	0.54%
日本大型株式	0.63%
日本小型株式	0.27%
日本債券	-0.50%
北米株式	-0.11%
欧州先進国株式	0.20%
アジア太平洋株式	0.12%
海外債券	-0.07%

※「月間の収益分解」は、当ファンドの当月の騰落率と、各マザーファンドへの配分を考慮し、簡便計算したものです。

◆ファンド（分配金再投資）とベンチマークの収益率とリスク（標準偏差）

	3ヵ月間	6ヵ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率（分配金再投資）	0.80 %	5.15 %	6.85 %	8.64 %	6.29 %	5.36 %	4.66 %
ベンチマーク収益率	－	－	－	－	－	－	－
差　異	－	－	－	－	－	－	－
ファンドリスク（分配金再投資）			4.63 %	4.84 %	5.49 %	6.21 %	6.99 %
ベンチマークリスク			－	－	－	－	－

※収益率は、1年以上の場合、年率ベースで、1年未満（3ヵ月間、6ヵ月間）は、年率換算していません。
※ファンド（分配金再投資）の収益率は、当ファンド決算時に分配金があった場合の分配金を再購入（再投資）し、算出しています。
※収益率・リスクともに月次の収益率より算出しています。設定日が月中の場合、設定日が属する月は含んでいません。

◆資産構成（マザーファンドの組入構成）

	基本アセットミックス	ファンド
日本大型株式	12.00 %	14.28 %
日本小型株式	6.00 %	6.43 %
日本債券	51.00 %	50.63 %
北米株式	13.00 %	10.01 %
欧州先進国株式	7.00 %	7.90 %
アジア太平洋株式	3.00 %	2.44 %
海外債券	8.00 %	7.32 %
短期資産その他	0.00 %	0.99 %

◆各マザーファンド基準価額の推移（月末ベース）

※設定日（2002年9月27日）を10,000円として指数化しています。

日本大型株　日本小型株　日本債券　北米株
欧州株　アジア太洋株　海外債券

運用：アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

「SMBCグローバル・インベストメント＆コンサルティング株式会社」が資産配分の助言、運用状況のモニタリングを行ないます。

特別勘定の名称：ＧＷバランス３

グローバル・ラップ・バランス成長型

倶楽部 Orchid GW

グローバル・ラップ・バランス 成長型

基準日　2026年1月30日

◆基準価額の推移グラフ

※基準価額は、設定日の前日を10,000として指数化しています。

◆基準価額と純資産総額

基準価額	34,653円
純資産総額	19.64億円

◆月間の収益分解

GWバランス　成長型	0.85%
日本大型株式	0.74%
日本小型株式	0.30%
日本債券	-0.39%
北米株式	-0.14%
欧州先進国株式	0.25%
アジア太平洋株式	0.17%
海外債券	-0.08%

※「月間の収益分解」は、当ファンドの当月の騰落率と、各マザーファンドへの配分を考慮し、簡便計算したものです。

◆ファンド（分配金再投資）とベンチマークの収益率とリスク（標準偏差）

	3ヵ月間	6ヵ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率（分配金再投資）	1.61 %	7.03 %	9.82 %	11.46 %	8.50 %	6.85 %	5.57 %
ベンチマーク収益率	－	－	－	－	－	－	－
差　異	－	－	－	－	－	－	－
ファンドリスク（分配金再投資）			5.65 %	5.72 %	6.56 %	7.67 %	8.69 %
ベンチマークリスク			－	－	－	－	－

※収益率は、1年以上の場合、年率ベースで、1年未満（3ヵ月間、6ヵ月間）は、年率換算していません。
※ファンド（分配金再投資）の収益率は、当ファンド決算時に分配金があった場合の分配金を再購入（再投資）し、算出しています。
※収益率・リスクともに月次の収益率より算出しています。設定日が月中の場合、設定日が属する月は含んでいません。

◆資産構成（マザーファンドの組入構成）

	基本アセットミックス	ファンド
日本大型株式	15.00 %	17.74 %
日本小型株式	7.00 %	7.44 %
日本債券	40.00 %	39.33 %
北米株式	16.00 %	12.68 %
欧州先進国株式	9.00 %	10.10 %
アジア太平洋株式	4.00 %	3.36 %
海外債券	9.00 %	8.23 %
短期資産その他	0.00 %	1.12 %

◆各マザーファンド基準価額の推移（月末ベース）

※設定日（2002年9月27日）を10,000円として指数化しています。

日本大型株　日本小型株　日本債券　北米株
欧州株　アジ太洋株　海外債券

運用：アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

「SMBCグローバル・インベストメント＆コンサルティング株式会社」が資産配分の助言、運用状況のモニタリングを行ないます。

特別勘定の名称：ＧＷバランス４

グローバル・ラップ・バランス積極成長型

倶楽部 Orchid GW

グローバル・ラップ・バランス 積極成長型

基準日　2026年1月30日

◆基準価額の推移グラフ

※基準価額は、設定日の前日を10,000として指数化しています。

◆基準価額と純資産総額

基準価額	49,606円
純資産総額	169.51億円

◆月間の収益分解

GWバランス　積極成長型	1.46%
日本大型株式	1.04%
日本小型株式	0.35%
日本債券	−0.20%
北米株式	−0.19%
欧州先進国株式	0.34%
アジア太平洋株式	0.20%
海外債券	−0.08%

※「月間の収益分解」は、当ファンドの当月の騰落率と、各マザーファンドへの配分を考慮し、簡便計算したものです。

◆ファンド（分配金再投資）とベンチマークの収益率とリスク（標準偏差）

	3ヵ月間	6ヵ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率（分配金再投資）	3.06 %	10.52 %	15.26 %	16.46 %	12.59 %	9.61 %	7.23 %
ベンチマーク収益率	−	−	−	−	−	−	−
差　異	−	−	−	−	−	−	−
ファンドリスク（分配金再投資）			7.43 %	7.37 %	8.51 %	10.29 %	11.71 %
ベンチマークリスク			−	−	−	−	−

※収益率は、1年以上の場合、年率ベースで、1年未満（3ヵ月間、6ヵ月間）は、年率換算していません。
※ファンド（分配金再投資）の収益率は、当ファンド決算時に分配金があった場合の分配金を再購入（再投資）し、算出しています。
※収益率・リスクともに月次の収益率より算出しています。設定日が月中の場合、設定日が属する月は含んでいません。

◆資産構成（マザーファンドの組入構成）

	基本アセットミックス	ファンド
日本大型株式	21.00 %	25.31 %
日本小型株式	8.00 %	8.87 %
日本債券	21.00 %	19.67 %
北米株式	22.00 %	17.29 %
欧州先進国株式	13.00 %	14.74 %
アジア太平洋株式	5.00 %	4.14 %
海外債券	10.00 %	9.00 %
短期資産その他	0.00 %	0.99 %

◆各マザーファンド基準価額の推移（月末ベース）

※設定日（2002年9月27日）を10,000円として指数化しています。

運用：アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

「SMBCグローバル・インベストメント＆コンサルティング株式会社」が資産配分の助言、運用状況のモニタリングを行ないます。

特別勘定の名称：ＧＷバランス５

グローバル・ラップ・バランス積極型

倶楽部 Orchid GW

グローバル・ラップ・バランス 積極型

基準日　2026年1月30日

◆基準価額の推移グラフ

※基準価額は、設定日の前日を10,000として指数化しています。

◆基準価額と純資産総額

基準価額	63,100円
純資産総額	51.81億円

◆月間の収益分解

GWバランス　積極型	2.06%
日本大型株式	1.31%
日本小型株式	0.39%
日本債券	-0.04%
北米株式	-0.22%
欧州先進国株式	0.42%
アジア太平洋株式	0.29%
海外債券	-0.09%

※「月間の収益分解」は、当ファンドの当月の騰落率と、各マザーファンドへの配分を考慮し、簡便計算したものです。

◆ファンド（分配金再投資）とベンチマークの収益率とリスク（標準偏差）

	3ヵ月間	6ヵ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率（分配金再投資）	4.36 %	13.56 %	20.23 %	20.63 %	15.94 %	11.77 %	8.34 %
ベンチマーク収益率	－	－	－	－	－	－	－
差　異	－	－	－	－	－	－	－
ファンドリスク（分配金再投資）			8.98 %	8.77 %	10.11 %	12.46 %	14.24 %
ベンチマークリスク			－	－	－	－	－

※収益率は、1年以上の場合、年率ベースで、1年未満（3ヵ月間、6ヵ月間）は、年率換算していません。
※ファンド（分配金再投資）の収益率は、当ファンド決算時に分配金があった場合の分配金を再購入（再投資）し、算出しています。
※収益率・リスクともに月次の収益率より算出しています。設定日が月中の場合、設定日が属する月は含んでいません。

◆資産構成（マザーファンドの組入構成）

	基本アセットミックス	ファンド
日本大型株式	26.00 %	31.23 %
日本小型株式	9.00 %	10.04 %
日本債券	5.00 %	4.14 %
北米株式	26.00 %	19.82 %
欧州先進国株式	16.00 %	18.17 %
アジア太平洋株式	7.00 %	5.89 %
海外債券	11.00 %	9.69 %
短期資産その他	0.00 %	1.02 %

◆各マザーファンド基準価額の推移（月末ベース）

※設定日（2002年9月27日）を10,000円として指数化しています。

日本大型株　日本小型株　日本債券　北米株
欧州株　アジア太洋株　海外債券

運用：アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

「SMBCグローバル・インベストメント＆コンサルティング株式会社」が資産配分の助言、運用状況のモニタリングを行ないます。

特別勘定の名称：ＧＷバランス６

グローバル・ラップ・バランス超積極型

倶楽部 Orchid GW

グローバル・ラップ・バランス 超積極型

基準日　2026年1月30日

◆基準価額の推移グラフ

※基準価額は、設定日の前日を10,000として指数化しています。

◆基準価額と純資産総額

基準価額	73,522円
純資産総額	51.47億円

◆月間の収益分解

GWバランス　超積極型	2.65%
日本大型株式	1.60%
日本小型株式	0.33%
日本債券	0.00%
北米株式	−0.22%
欧州先進国株式	0.60%
アジア太平洋株式	0.34%
海外債券	0.00%

※「月間の収益分解」は、当ファンドの当月の騰落率と、各マザーファンドへの配分を考慮し、簡便計算したものです。

◆ファンド（分配金再投資）とベンチマークの収益率とリスク（標準偏差）

	3ヵ月間	6ヵ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率（分配金再投資）	5.20 %	15.38 %	23.16 %	22.40 %	17.43 %	12.86 %	9.06 %
ベンチマーク収益率	−	−	−	−	−	−	−
差　異	−	−	−	−	−	−	−
ファンドリスク（分配金再投資）			9.81 %	9.43 %	10.90 %	13.74 %	16.10 %
ベンチマークリスク			−	−	−	−	−

※収益率は、1年以上の場合、年率ベースで、1年未満（3ヵ月間、6ヵ月間）は、年率換算していません。
※ファンド（分配金再投資）の収益率は、当ファンド決算時に分配金があった場合の分配金を再購入（再投資）し、算出しています。
※収益率・リスクともに月次の収益率より算出しています。設定日が月中の場合、設定日が属する月は含んでいません。

◆資産構成（マザーファンドの組入構成）

	基本アセットミックス	ファンド
日本大型株式	31.00 %	38.19 %
日本小型株式	7.00 %	8.35 %
日本債券	0.00 %	0.00 %
北米株式	30.00 %	19.96 %
欧州先進国株式	23.00 %	25.76 %
アジア太平洋株式	9.00 %	6.97 %
海外債券	0.00 %	0.00 %
短期資産その他	0.00 %	0.77 %

◆各マザーファンド基準価額の推移（月末ベース）

※設定日（2002年9月27日）を10,000円として指数化しています。

運用：アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

「SMBCグローバル・インベストメント＆コンサルティング株式会社」が資産配分の助言、運用状況のモニタリングを行ないます。

SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社のコメント

倶楽部 Orchid GW

世界の市況・経済動向

2026年2月13日
ＳＭＢＣグローバル・インベストメント＆コンサルティング株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第449号

■ 市況概況（1月）

資産	コメント
日本株式	日経平均は、月の前半は高市首相が衆議院を解散をするとの観測や堅調な米経済指標を受けて上昇基調で推移も、月の後半はグリーンランドの領有を巡る米欧対立への懸念から上げ幅を縮める展開。月間で+5.93%。TOPIXは+4.62%。
外国株式	米国市場では、月の前半は堅調な経済指標やAI関連需要への懸念の後退を背景に上昇基調で推移も、その後はグリーンランドの領有を巡る米欧対立への懸念から一進一退の展開。欧州市場は、月の前半はユーロ圏のインフレ鈍化や堅調な米経済指標を背景に上昇基調で推移も、月の後半は地政学リスクの高まりから上げ幅を縮める展開。月間でNYダウ+1.73%、ナスダック+0.95%、独DAX+0.20%、英FT+2.94%。
日本債券	10年国債利回りは上昇。月の前半は円安進行による物価上昇懸念から利回りは上昇基調。その後、衆議院早期解散観測を受け積極財政推進の政権与党による議席増が意識され利回りは一段高。日銀金融政策決定会合後も利上げ継続への警戒から利回りは高止まりし、月末は2.240%。
外国債券	米10年国債利回りは上昇。月の上旬には小動きで推移、中旬以降は日本の利回り上昇が意識されたほか、グリーンランドの領有を巡る対欧関税政策への警戒感から利回りは上昇、その後は米国が関税措置を見送る姿勢を示すと利回りは上昇幅を縮小し、月末は4.236%。独10年国債利回りは小幅低下。月の上旬は軟調な経済指標や地政学リスクの高まりを受け利回りは低下基調、中旬以降は米政権の対外政策を巡りインフレ再燃への警戒が意識され利回りが上昇するも、米国が関税措置を見送る姿勢を示すと利回りは低下し、月末は2.843%。
為替	円/ドル相場は、日銀による早期利上げ観測の後退や日本の財政悪化懸念などから一時1ドル=159円台まで円売りが進行。下旬にはニューヨーク連銀によるレートチェック実施(為替介入の可能性を探る動き)の観測が広まり急速に円買い･ドル売りが進行。月末は1ドル=154円台。円/ユーロ相場は、日本の財政悪化懸念などを背景に円売り･ユーロ買いが進行も、日本政府による円買い介入観測が浮上し円売り･ユーロ買いは縮小。下旬にはレートチェック実施の観測が広まり、円買い･ユーロ売りが進行。月末は1ユーロ=183円台。

■ 当面の見通し

世界経済は、各国の金融緩和や財政拡大を背景に緩やかな成長が続く見通しであるが、中国の内需低迷や貿易摩擦、米政権の不確実性が成長の重しとなる可能性がある。米国では、底堅い個人消費や雇用環境の大幅悪化回避、インフレ低下傾向を背景に景気拡大が続く一方、高所得層中心の消費やAI関連依存の強まり、消費者マインド悪化が先行きの不安材料となっている。欧州では、利下げの累積効果や財政支出拡大、ドイツ製造業の回復などを背景に緩やかな拡大基調を維持し、インフレ率も安定的に推移する見込みであるが、対米貿易摩擦や域内政治情勢がリスク要因となりうる。日本では、賃上げ継続や経済対策、個人消費持ち直しを背景に緩やかな回復が見込まれる一方、円安による物価高止まりや日中関係悪化によるインバウンド消費減少が下押し圧力となる恐れがある。新興国では中国において、輸出が堅調で2025年に成長目標を達成したものの、内需低迷や不動産不況で景気減速が続き、政府は需要創出策で景気下支えを図るとみられるが、外需依存の構造は貿易摩擦による成長鈍化が懸念される。

金融政策に関しては、米国では景気の底堅さや物価高止まり、雇用環境の持ち直し見通しを背景に米当局はリスク管理としての利下げを休止し、利下げ姿勢維持も当面は政策金利の据え置きが見込まれるが、米当局次期議長の政策スタンスや雇用・物価動向次第で年内に利下げの可能性もある。欧州では、景気や物価の安定を背景に中立水準で長期間政策金利を据え置くとみられ、今後もデータに基づく判断で利下げ再開や利上げ転換には慎重姿勢を維持する見込みである。日銀は、賃金上昇や円安による物価上昇圧力を背景に今後も半年ごとに利上げを実施する見通しであるが、衆議院選挙での食品減税公約や日中関係悪化が物価や景気に与える影響も注視する必要がある。金融市場では、米当局が利下げ様子見、欧州当局は据え置きを継続、日銀は段階的な追加利上げを見込むなど、各当局は当面現行方針を維持しつつ、景気や物価の動向を見極めながら慎重に政策運営を行うだろう。

世界株式市場では、米国株は利下げ・減税効果やAI関連以外の企業業績回復期待、金融株の堅調さを背景に高値圏での推移が見込まれ、欧州株は米資産離れによる資金流入や割安感から底堅い推移を維持、日本株は景気刺激策や企業業績改善、株主還元期待を追い風に上昇基調を保つ見通しである。**世界債券市場**については、米欧当局が当面政策金利を据え置くとみられ、財政悪化懸念から海外長期金利は緩やかな上昇が見込まれ、国内長期金利は日銀の利上げ継続姿勢や需給悪化懸念から上昇基調が続くと予想される。**為替市場**では、対ドルは日米金融当局の政策姿勢が円高要因となるなかで、財政拡大懸念や金利差を背景にもみ合いが続き、対ユーロも欧州景気持ち直しやECB利下げ一巡で円安基調が続く見通しであるが、急速な円安時には為替介入警戒から円高に振れる可能性もある。

・信頼できると判断したデータをもとにＳＭＢＣグローバル・インベストメント＆コンサルティング株式会社が作成。 ・各グラフは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

本資料は情報提供を目的としてSMBCグローバル・インベストメント＆コンサルティング株式会社（以下「SGIC」といいます）が作成したものであり、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づき作成されていますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に示された見解や予測は、資料作成時点でのものであり、事前の通知なしに変更することがあります。本資料はSGICの著作物です。ただし、本資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属し、SGICによる当該指数等の使用について当該開発元または公表元は一切責任を負いません。詳細はhttps://www.smbc-gic.co.jpでご参照いただけます。投資に関する最終的なご判断は、お客さまご自身でしていただきますようお願い申し上げます。なお、本資料で使用したグラフおよび数値は、過去の実績であり、将来の結果を約束するものではありません。

募集代理店
SMBC日興証券

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

引受保険会社
三井住友海上プライマリー生命
MS&AD INSURANCE GROUP

特別勘定の名称：マネー

SMAM・FGマネーファンドVA

倶楽部 Orchid GW

■このレポートは、三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。

三井住友DSアセットマネジメント

【SMAM・FGマネーファンドVA】

主として、マネーインカム・マザーファンドへの投資を通じて、円貨建の短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

作成基準日：2026年1月30日

● 設定来の運用実績

■ 基準価額は、信託報酬控除後です。
■ 基準価額は、2011年3月3日を10,000とした指数として表示しております。
■ グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

●基準価額および純資産総額

	1月30日	前月比
基準価額(円)	10,000	5
純資産総額(百万円)	304	−1

●騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来
ファンド	0.05%	0.09%	0.20%	0.35%	0.00%

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。設定来は2011年3月3日を基準とします。上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

●信託報酬率(年率)

2026年1月30日現在	0.0000%

※上記信託報酬率は税抜きです。

●資産構成

債券	67.7%
先物等	0.0%
短期金融商品・現金等	32.3%
合計	100.0%

●ポートフォリオ概況

クーポン(%)	0.05
残存年数(年)	0.34
修正デュレーション(年)	0.34
最終利回り(%)	0.53

●格付構成

AAA格	67.7%
AA格	0.0%
A格	0.0%
BBB格	0.0%
BB格以下	0.0%

●債券種別構成

国債	67.7%
政府保証債	0.0%
地方債	0.0%
金融債	0.0%
事業債	0.0%
円建外債	0.0%
その他	0.0%

●残存年月別構成

1年未満	67.7%
1−3年	0.0%
3−7年	0.0%
7−10年	0.0%
10年以上	0.0%

※構成比を示す比率は全て当ファンドの純資産総額対比です。

特別勘定の名称：海外リートインデックスファンド

海外先進国REITインデックスファンド

倶楽部 Orchid GW

データは2026年1月30日現在

マンスリーレポート

海外先進国ＲＥＩＴインデックスファンド（適格機関投資家向け）

ファンドの概要

設　定　日　2006年10月6日
償　還　日　無期限
決　算　日　原則6月15日
収 益 分 配　決算日毎

ファンドの特色

Ｓ＆Ｐ先進国ＲＥＩＴ指数（除く日本、税引後配当込み、ヘッジなし・円ベース）に連動した投資成果を目標として運用を行ないます。

運　用　実　績

※このレポートでは基準価額および分配金を１万口当たりで表示しています。
※当レポートのグラフ、数値などは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。
※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

＜基準価額の推移＞

※基準価額は当ファンドに、分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意下さい。
※ベンチマークはＳ＆Ｐ先進国ＲＥＩＴ指数（除く日本、税引後配当込み、ヘッジなし・円ベース）です。
※基準価額およびベンチマークは設定日の前営業日を10,000として指数化しています。

基準価額　：　24,359円
純資産総額　：　5.70億円

＜基準価額の騰落率＞

	１ヵ月	３ヵ月	６ヵ月	１年	３年	設定来
当ファンド	0.31%	2.80%	8.06%	6.55%	36.68%	147.12%
ベンチマーク	0.30%	2.82%	8.02%	6.45%	36.58%	153.07%

※基準価額は当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意下さい。

＜分配金実績（税引前）＞

21･6･15	22･6･15	23･6･15	24･6･17	25･6･16
10円	10円	10円	10円	0円

＜資産構成比率＞

不動産投信	99.0%
現金その他	1.0%

＜国別上位５ヵ国＞

	国　名	比　率
1	アメリカ	76.3%
2	オーストラリア	7.7%
3	イギリス	4.4%
4	シンガポール	3.5%
5	フランス	2.2%

※比率はマザーファンドの純資産総額比です。

＜不動産投信 組入上位10銘柄＞（銘柄数 284銘柄）

	銘　柄　名	国　名	比率
1	WELLTOWER INC	アメリカ	8.1%
2	PROLOGIS INC	アメリカ	7.7%
3	EQUINIX INC	アメリカ	5.2%
4	SIMON PROPERTY GROUP INC	アメリカ	3.9%
5	REALTY INCOME CORP	アメリカ	3.6%
6	DIGITAL REALTY TRUST INC	アメリカ	3.4%
7	GOODMAN GROUP	オーストラリア	2.8%
8	PUBLIC STORAGE	アメリカ	2.8%
9	VENTAS INC	アメリカ	2.3%
10	VICI PROPERTIES INC	アメリカ	1.9%

※比率はマザーファンドの純資産総額比です。

市　況　概　況

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

◎市場環境

１月のＳ＆Ｐ先進国ＲＥＩＴ指数（除く日本）は、前月末と比べて上昇しました。

米国ＲＥＩＴ指数は、前月末と比べて上昇しました。デンマーク自治領グリーンランドの取得を目指す米国とデンマークをはじめとする欧州各国との対立が一時先鋭化し、欧州勢による米国国債の売却が懸念されたことなどを受けて米国の長期金利が上昇しました。それがＲＥＩＴ価格の重しとなったものの、米国連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）議長が米国連邦公開市場委員会（ＦＯＭＣ）後の記者会見で経済成長見通しについて明確な改善がみられるとの認識を示したことや、米国株式市場が堅調に推移したことなどから、同指数は上昇しました。

欧州ＲＥＩＴ指数は、前月末と比べて上昇しました。米国が軍事作戦によりベネズエラ大統領を拘束したことや、デンマーク自治領グリーンランドの取得を目指す米国とデンマークをはじめとする欧州各国との対立が一時先鋭化したことを背景とする投資家のリスク回避の動きなどがＲＥＩＴ価格の下落要因となったものの、ドイツおよびフランスの消費者物価指数（ＣＰＩ）速報値が市場予想を下回り、欧州でのインフレ懸念が和らいだことや、欧州の株式市場が概して上昇したことなどがＲＥＩＴ価格の支援材料となり、同指数は上昇しました。

オーストラリアＲＥＩＴ指数は、前月末と比べて下落しました。金、銀、原油などの価格上昇を背景に、オーストラリア株式市場が堅調となったことなどがＲＥＩＴ価格の支援材料となったものの、オーストラリアの雇用統計やＣＰＩが市場予想を上回り、オーストラリア準備銀行（ＲＢＡ）による早期の利上げ観測が強まったことなどがＲＥＩＴ価格の重しとなり、同指数は下落しました。

■当ファンド（マザーファンドを含みます。）は、主に投資信託証券に投資を行ない、投資対象とする投資信託証券は、主に不動産など値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

アモーヴァ・アセットマネジメント

募集代理店
SMBC日興証券

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

引受保険会社
三井住友海上プライマリー生命
MS&AD INSURANCE GROUP

募集代理店

SMBC日興証券株式会社

引受保険会社

三井住友海上プライマリー生命保険株式会社

〒103-0028　東京都中央区八重洲 1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル

資料請求・お問合わせ
フリーダイヤル　0120-125-104
https://www.ms-primary.com